

別記様式(第4条関係)

会議録

会議の名称	平成30年度 第2回加東市水道事業及び下水道事業運営審議会									
開催日時	平成30年8月24日(金) 午後2時00分から午後4時05分まで									
開催場所	加東市役所 3階 302会議室									
議長の氏名 (会長 梅野巨利)										
出席及び欠席委員の氏名										
<出席委員>										
・梅野 巨利		・神田 耕司	・小倉 康	・吉田 伊佐見	・井上 益子					
・山羽 勲		・石井 保	・川越 美紀	・豊福 乃子	・堀内 千穂					
<欠席委員>										
なし										
出席した事務局職員の氏名及びその職名										
・技監 岸本 至泰										
・上下水道部長 大畠 敏之			・上下水道部管理課長 藤浦 与志夫							
・上下水道部工務課長 安則 宏幸			・上下水道部管理課副課長 阿江 英俊							
・上下水道部工務課副課長 西山 太			・上下水道部管理課係長 北島 恵子							
・上下水道部工務課係長 西角 昌記			・上下水道部管理課主事 小谷 拓海							
傍聴者 なし										
1 協議事項										
(1) 加東市水道ビジョンの中間報告(案)について										
(2) 加東市下水道ビジョンの中間報告(案)について										
2 会議資料										
【資料1】加東市水道ビジョンの中間報告(案)										
【資料2】加東市水道ビジョンの中間報告(案)の意見に対する考え方等について										
【資料3】加東市下水道ビジョンの中間報告(案)										
【資料4】加東市下水道ビジョンの中間報告(案)の意見に対する考え方等について										
【別紙】意見書										
3 会議の経過										
⇒別紙「平成30年度第2回加東市水道事業及び下水道事業運営審議会・会議の経過」のとおり										
平成30年9月27日										
会長			梅野 巨利							
会長職務代理者										
神田 耕司										

(別紙) 平成30年度第2回加東市水道事業及び下水道事業運営審議会・会議の経過

発言者	会議の経過／発言内容
	<p>1 開会 事務局より定足数の確認を行い、本運営審議会が成立することを報告した。</p> <p>2 会長挨拶</p> <p>3 協議事項</p> <p>(1) 協議事項に入る前に、事務局より資料の修正箇所を説明した。</p> <p>資料1</p> <ul style="list-style-type: none"> 18 ページ：収益的収支の前に①の番号を付けて、①収益的収支と表示する。 19 ページ：資本的収支の前に②の番号を付けて、②資本的収支と表示する。 42 ページ：図 4-1 のグラフ左側の軸（有収水量）の1万の桁の数値が消えかけているため、表示する。 47 ページ：施策目標 I の点線で囲んだ枠の中の文章中最後の文末で句点が抜け落ちているため、句点を入れる。 <p>資料3</p> <ul style="list-style-type: none"> 22 ページ：①収益的収支の文章1行目の「昭和 55 年度」に西暦 1980 の併記が漏れているため、1980（昭和 55）年度と表示する。 32 ページ：図 4-1 行政区域内人口の予測（本市人口ビジョンより掲載）は、予測数値のため、図のタイトルの括弧書きは、（本市人口ビジョンを基に算出）に修正する。併せて、今回予測の赤色線グラフで示す数値の 2030（平成 42）年度の 39,392 人は誤った人口推計値のため、正しい 39,098 人に修正する。 <p>(2) 協議事項の(1) 加東市水道ビジョンの中間報告（案）について、前回資料から意見等をもとに修正した箇所及び第5章以降からの追加項目を事務局より説明し、質疑応答を行った。</p> <p>【質疑応答等】</p> <p>委員</p> <ul style="list-style-type: none"> 24ページ、26ページの業務指標A102のカビ臭に関する値が悪い。50ページに具体的な施策がないどのように考えているのか。 <p>事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> 年によって臭気が発生することがある。活性炭を注入することにより対応している。また、水質検査の頻度を上げてカビ臭の兆候をいち早く知り、事前に活性炭を注入する。さらに鴨川ダムに水質浄化装置（曝気）があり、これを早めに運転することや、能力アップに取り組んでいく施策になる。 <p>委員</p> <ul style="list-style-type: none"> カビ臭対策は、わかりやすい文章で記述してほしい。カビ臭は2010年から2015年で上昇しているがこんなに違うものか。原因はつかめているのか。 <p>事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> 詳細な原因はつかんでいないが、ダム水の水温が高いときやダム底のヘドロが表層に出たときに臭気が発生することがわかつてきた。対策として、臭気が発生する前に取水し、浄水処理を施して配水池に水を貯める方法がある。 <p>委員</p> <ul style="list-style-type: none"> 検査する水は、ダム水だけで県営水道は検査しないのか。 <p>事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> 三田浄水場は県の施設であるため、検査は県が行っているが、本市との情報共有は出来ている。 <p>委員</p> <ul style="list-style-type: none"> 25ページの業務指標A101の平均残留塩素濃度の数値が高いが、県営水道の水質に由来しているとなっているのはなぜか。 <p>事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> 県営水道は、安全な水を各市町に送る必要があるため、末端まで残留塩素濃度が確保できるように送水している。三田浄水場から比較的上流で受水している本市では、高めの残留塩素濃度となる。 <p>委員</p> <ul style="list-style-type: none"> このような状況で、おいしい水と言えるか。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> 残留塩素濃度の数値を上昇させることと安全でおいしい水は逆行（トレードオフ）している。新しく建設を予定している統合浄水場では、おいしい水を供給するため、本格的な活性炭処理施設を整備する。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 3ページの1.2.2計画期間の表中では、加東市新水道ビジョンとされているが、策定するビジョンの標記を新水道ビジョンにするのか
事務局 委員	<ul style="list-style-type: none"> 水道ビジョンに「新」の文字は使わないと改める。 58ページ、59ページ、の事業実施計画において、前期、中期、後期となっているが、説明にあったような、期間を示す注釈を追記して欲しい。
事務局 委員	<ul style="list-style-type: none"> 前期、中期、後期の注釈を追記する。 9ページの表3-2が2ページにまたがっているため、表3-2（1）、表3-2（2）としたらどうか。
事務局 委員	<ul style="list-style-type: none"> 修正について検討し、次回の審議会資料で提示する。 9ページの6行目の「ダム水を最も多く利用」となっているが2種類しかないのに最もという表記は適切ではない。
事務局 委員	<ul style="list-style-type: none"> 指摘のとおり「ダム水を多く利用…」という表記にする。 12ページの図3-3給水区域図は配水区域図ではないか。
事務局 委員	<ul style="list-style-type: none"> 指摘のとおり配水区域図に修正する。 53ページでは、秋津配水場や配水池（20池）、13ページでは、配水池は21か所となっているがどちらが正しいか。
事務局 委員 事務局 委員 事務局 委員	<ul style="list-style-type: none"> 確認し、次回の審議会資料で修正について提示する。 9、10、11、13ページに修正前の前期ビジョンの表記が残っている。 現行ビジョンに修正する。 33ページの業務指標B602の浄水場施設の耐震化率の数値はないがどうか。 3つある浄水場のうち、広沢と滝野の2つの浄水場を統合し、耐震化施設として建設する。残りの秋津浄水場は、まず耐震診断を行い、耐震性を判断してからの耐震化対策となり、この先10年間の実施計画である。
委員 事務局 委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> 10年間で終了か事業着手か。 秋津浄水場は、事業着手して設計等を考えれば10年以上はかかる。 10年間はもつのか。保険はあるのか。 広沢浄水場と滝野浄水場の統合事業の計画期間が平成33年度までのため、秋津浄水場の耐震化対策については、財政面を考慮すると統合事業後になるが、新耐震基準で判断した場合は、施設がもたない可能性はある。 秋津浄水場が地震で使用できなくなったら、他の浄水場で賄うことはできるか。 地震で浄水処理が出来なくなても、県営水道を増量する方法がある。 秋津浄水場が地震で使用できなくなったら市民が困ることはないのか。 今は県営水道の増量で対応することを想定している。
委員 委員 事務局	<p>【基本理念の提案について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「水が笑顔を運ぶ」 「安心して暮らすこのまちで」、「おいしい水のこのまちで」 これら提案をもとに事務局でまとめ、次回の運営審議会で提示する。
	<p>(3) 協議事項の(2)加東市下水道ビジョンの中間報告（案）について、前回資料から意見等をもとに修正した箇所及び第5章以降からの追加項目を事務局より説明し、質疑応答を行った。</p>
委員	<p>【質疑応答等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 3ページの表1-1 第2次加東市総合計画の開始年度は2019（平成31）年度からの矢印となっているが、2018（平成30）年度からの矢印表記ではないか。

事務局 委員 事務局 委員 委員 事務局 委員 事務局 委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> 指摘のとおり誤りであるため、修正する。 5ページ9行目の「東播都市計画下水道事業」の文言は必要か。 合併前からの変遷を説明した記述であり、内容は適切であるが、時系列に解説した文章が長文となっているため、読みやすくできるか文書校正を検討する。 事実は間違っていない。文章としてもおかしくないし、端的に書いてあると思うが、読む側の個人の読み解力にもよるところであろう。 施策目標に「住民理解の向上プレゼンスの向上」とあるが、何のプレゼンスか書いていないので、わかりにくい。この言葉は必要か。のままでも構わないが、プレゼンスという言葉が浮いている印象がある。国が使っているのか。 プレゼンスを用いるか検討するが、国土交通省公表の新下水道ビジョンでプレゼンスの言葉を用いているため、本市ビジョンに同様の表記で適用している。 47ページの統廃合模式図は、廃止する処理場施設に矢印で方向が表示されているのはどういう意味の表記か。 統廃合の工事を順次行う際の接続先の処理区を示すための矢印表記となる。 <p>【基本理念の提案について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「私たちの下水道をいつまでも」、「安心・安全」 「人・モノ・カネ 再クリーン」 「人・モノ・カネ と危機管理」 これら提案をもとに事務局でまとめ、次回の運営審議会で提示する。
	<p>4 その他</p> <p>(1) 意見書について 意見書の提出期限について、事務局より説明した。</p> <p>(2) その他 次回の審議会の日程について、事務局より説明した。</p> <p>5 閉会 神田職務代理から閉会の挨拶 事務局より閉会宣言</p>